

令和5年度

**釜石市地域包括支援センター
事業実績報告**

I 令和5年度釜石市地域包括支援センター事業実績報告

1 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
介護予防ケアマネジメント事業	<p>【令和5年度実施状況】 介護予防ケアプラン作成件数…2,248件（年） 月平均作成件数…187件</p> <p>【内容】 ・要支援1・2及び事業対象者の方で「訪問型サービス」（ヘルパー）と「通所型サービス」（デイサービス）のみを利用する方に対して、介護予防ケアマネジメント業務を行った。 ・高齢者の「自立支援」と「生活の質の向上」を目的とし、対象者の心身の状況等に応じて必要なサービスを調整するなど、介護予防に向けたケアプランを作成した。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 福祉用具貸与など他のサービスも併せて利用する場合は、「介護予防支援事業」（22ページ記載）として、別事業で区分される。 </div>	<p>【令和6年3月末】 人口：29,556人 （要支援者数） 要支援1=402人 要支援2=253人 計=655人 （サービス利用者） 191人 （高齢者人口） R6.3末12,026人 R5.3末12,237人 （高齢化率） R6.3末40.7% R5.3末40.4%</p>

(2) 一般介護予防事業 ※すべての高齢者を対象に行う介護予防の取り組み

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
介護予防普及啓発事業 ① 口腔機能向上事業 （歯つらつ健口教室）	<p>【令和5年度実施状況】 実施回数… 8回、延参加者数…48人 対象…いきいき100歳体操実施団体（4団体×2回） 委託先…岩手県歯科衛生士会釜石支部</p> <p>【内容】 加齢等による口腔機能の低下を予防するため「歯つらつ健口教室」を開催し、かみかみ100歳体操実技指導や歯科講話等を行った。 ・2回通して参加される方が少なかった。（18人のみ） ・アンケート結果から舌を磨く人や硬いものが食べられるようになったと感じる人が増えた。また、歯科受診した人も増えていた。</p>	R4：16回、120人 R3：10回、144人 R2：12回、145人 R1：16回、174人

<p>介護予防 普及啓発事業</p> <p>②認知症予防 教室</p>	<p>【令和5年度実施状況】</p> <p>実施回数…8回、参加者数…87人</p> <p>対象…100歳体操団体などの自主活動グループ、公民館 事業参加者など</p> <p>【内容】</p> <p>・認知症に対する不安の解消や認知症予防に関する正しい知識の普及・啓発を図るため、保健師による認知症予防講話を実施した。</p> <p>「もの忘れ相談会」（14ページに記載）と合同で開催。</p>	<p>R4：8回、89人 R3：13回、132人 R2：9回、70人 R1：5回、79人</p>
<p>介護予防 普及啓発事業 (保健事業と介護 予防の一体的実 施事業)</p> <p>③栄養改善教室</p>	<p>【令和5年度実施状況】</p> <p>実施回数…46回、参加者数…404人</p> <p>対象…自主活動グループ23団体×2回</p> <p>【内容】</p> <p>R4年より市民課医療給付係の保健事業と介護予防の一体化事業とタイアップし実施。フレイル（虚弱）予防のために、低栄養予防とバランスのとれた食生活の指導を行った。また、希望者に対して尿中ナトカリ比測定を行い減塩への意識啓発を行った。</p> <p>(内訳)</p> <p>①100歳体操自主グループ 13団体 延べ247人 ②食に関する活動を行っている団体 1団体 延べ15人 ③閉じこもり予防教室 6団体 延べ74人 ④その他（自主グループ等） 3団体 延べ68人</p>	<p>R4：36回、179人 R3：3回、40人 R2：2回、23人 R1：5回、73人</p>
<p>介護予防 普及啓発事業</p> <p>④いきいき100 歳体操普及、活動 継続に向けた取 り組み</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】</p> <p>① 動機づけ支援 開催回数7回 参加者数77人 ② 導入支援 開催回数6回 参加者数71人 ③ 継続支援 シルバリンピック 開催回数5回 参加者数95人 いきいき100歳体操交流会 参加者数76人 (令和6年3月末現在の自主活動団体数 50団体)</p> <p>【内容】</p> <p>・介護予防と生きがい、住民主体の「通いの場」を推進するツールの1つとして、100歳体操の普及に取り組んだ。</p> <p>① 動機づけ支援=100歳体操の「体験会」を企画・実施。 ② 導入支援=開催場所や必要物品、運営体制の相談、体力測定の実施を行った。</p>	<p>R4年度末：46団体 R3年度末：44団体 R2年度末：43団体 R1年度末：39団体</p>

	<p>③ 継続支援＝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバリリンピック(体力測定等)を開催 令和5年5月31日、中妻体育館 令和5年6月1日、保健福祉センター9階 令和5年6月6日、唐丹地区生活応援センター 令和5年6月9日、栗橋地区基幹集落センター 鶴住居地区生活応援センター ・全体交流会を開催 令和5年10月12日、市民ホール TETTO ・100歳体操の冊子を作成し、各団体の活動内容を紹介した。 	
<p>介護予防 普及啓発事業</p> <p>⑤介護予防・ 介護保険説明会</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】 実施回数…8回、参加者数…58人 対象…65歳になり介護保険証が交付される方</p> <p>【内容】 ・介護保険制度や介護予防について理解を深めるための説明会を開催した。新型コロナウイルス感染予防のため予約制で実施。 ・対象者に日程を案内するとともに、市広報にも掲載し希望者が参加できるように配慮した。</p>	<p>R4年度：6回、24人 R3年度：7回、41人 R2年度：3回、14人 R1年度：7回、60人</p>
<p>介護予防 普及啓発事業</p> <p>⑥閉じこもり等予 防事業 (ふれあい教室)</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】 実施回数…203回、延参加人数…1,522人 会場…18会場(市内集会所など) 委託先…釜石市社会福祉協議会</p> <p>【内容】 ・家に閉じこもりがちな高齢者等を対象に市内の集会所等で、音楽・手芸・ニュースポーツや、健康に関する講話など集いの場となる「ふれあい教室」を開催した。</p>	<p>R4：191回、1473人 R3：159回、1373人 R2：127回、1186人 R1：170回、1807人</p>
<p>介護予防 普及啓発事業</p> <p>⑦スポーツ教室に よる高齢者等健康 支援事業</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】 実施回数…427回、延参加人数…4,677人 会場…38会場(公民館、集会所など) 委託先…釜石市体育協会</p> <p>【内容】 ・高齢者が可能な限り住み慣れた地域で「健康で生きがいを</p>	<p>令和3年度新規事業 R4：377回、4736人 R3：397回、5090人</p>

	<p>持ち」生活できるよう、各地域の公民館や集会所で、ニュースポーツや軽体操等の健康教室を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症蔓延防止等による中止は13回。 ・高齢者を対象に、各地区生活応援センター等と連携し、在宅でもできる運動や個人で実施可能な屋外運動等、状況に応じた健康活動の提案を行った。(公民館だよりによる啓発活動) 	
<p>地域介護予防活動支援事業</p> <p>地域住民グループ支援事業</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】</p> <p>①唐丹畑の会（3年目） 活動回数…18回、延参加者数…212人（会員19人）</p> <p>②本郷グラウンドゴルフの会（2年目） 活動回数…14回、延参加者数…136人（会員15人）</p> <p>③唐丹ものづくりの会（1年目） 活動回数…22回、延参加者数…202人（会員11人）</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防等に資する活動を行おうとする地域住民団体3団体に対し活動費を助成した。助成を受けた地域住民団体は、軽作業、ニュースポーツ、サロンなど、介護予防活動に主体的に取り組んだ。 ・3年間の助成事業で1～3年目一律50,000円、4年目以降は自立（自主活動を促す）を目指す 	<p>R4：2団体 唐丹畑の会② 本郷グラウンドゴルフの会①</p> <p>R3：2団体 平田いきいき③ 唐丹畑の会①</p> <p>R2：2団体 中妻サロン会③ 平田いきいき②</p> <p>R1：2団体 中妻サロン会② 平田いきいき①</p>

2 包括的支援事業

(1) 総合相談支援業務

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
総合相談業務	<p>【令和5年度相談実績】 相談延件数…4,270件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うち地域包括支援センター 3,417件 ・うちランチ(在宅介護支援センター7箇所) 853件 <p>※詳細は別添資料1のとおり</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士を中心とした専門職が、本人、家族、地域住民などからの様々な相談に応じ、制度に関する情報提供や関係先の紹介など、総合相談支援を行った。 ・相談窓口として、地域包括支援センター(各地区生活応援センター含む)のほか、市内7カ所に在宅介護支援センターを設置している。 ・令和5年度は、前年度に引き続き、精神疾患・知的・発達障がい(疑い含む)、引きこもり、ペット問題等、高齢者本人だけでなく、その家族等にも様々な関係機関の関わりが必要となるケースが増加した。また、頼れる親族がいない、家族との関係が良くないため援助が望めないといった「身寄りなし問題」を抱えた高齢者への対応も年々増加している。 	R4 : 5,164件 R3 : 3,203件 R2 : 4,257件 R1 : 4,179件
高齢者現況調査	<p>【令和5年度事業実施状況】 調査件数…9,281人 回収数 …8,519人(回収率91.8%) ※「独居」で「交流がない」と回答した人 145人 (孤立リスクが高い人⇒個別訪問実施)</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に住所を有する方で、要支援・要介護認定者を除く65歳以上の方すべてを対象に、「高齢者現況調査」(別添資料2:釜石市高齢者現況調査票)を実施した。 ・回答結果は緊急時の対応や相談時に支援を行う上での基本情報として活用している。 ・前年度調査結果により、「独居」で「家族及び地域との交流がない」(孤立リスクが高い独居高齢者)と回答した人について各地区生活応援センター保健師が個別訪問。地域との関わりや「通いの場」への参加の促し、介護サービスの利用など、必要な支援を行っている。 	<p>孤立リスクが高い人</p> R4 : 168人 R3 : 168人 R2 : 148人 R1 : 102人 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の「困りごと」は、「1位物忘れ、2位外出時の交通手段」、3位買い物となっている。 ・自由記載欄記入者数:630人(実態把握調査数:61人)

	<p>・調査票の自由記載欄に記入された内容を精査し、状況把握が必要な人には各地区生活応援センター保健師が訪問し、実態把握調査を実施した(調査の内容に応じて必要な支援につなげている)。</p>	
<p>独居高齢者 見守り事業</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】 対象地区…東部地区復興住宅等 対象世帯…約200件 1か月あたり訪問件数…600～700件 委託先…SOMPO ケア (株)</p> <p>【内容】 ・東部地区復興住宅を中心に、独居高齢者及び見守りが必要な高齢者世帯について、定期的に見守り・傾聴支援を行う。</p>	

(2) 権利擁護業務

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
<p>高齢者虐待・消費生活被害の防止など</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】</p> <p>①虐待に関する相談延件数…96件 ※虐待認定件数…13件</p> <p>②権利擁護に関する相談延件数…55件</p> <p>③研修会の開催</p> <p>■地域住民向け権利擁護説明会(テーマ:特殊詐欺予防) 実施回数…10回 延参加者数…171人</p> <p>■令和5年度第1回権利擁護研修会 参加人数…32人 講師…釜石ひまわり基金法律事務所 弁護士 細川恵喜氏 県立釜石病院緩和ケア認定看護師 西明子氏</p> <p>【内容】</p> <p>・社会福祉士が中心となって高齢者虐待対応等、権利擁護に係る相談・支援を行った。高齢者虐待については、ケアマネ、警察、精神科病院、介護サービス事業所等といった関係機関と連携し、迅速な対応を行った。</p> <p>・高齢者と養護者の分離支援等、高齢者虐待対応が終了した後も障がい者支援や生活困窮にかかる支援につなぐなど、関係機関と連携しての継続的な支援を必要とするケースが増加した。</p> <p>・住所(当市)と居所(他自治体)が違う高齢者にかかる通報・相談を受けた事案があった。他自治体の高齢者(虐待対応)担当部局及び地域包括支援センターと連携し、対応を行った。</p> <p>・権利擁護説明会の開催は「<u>特殊詐欺予防</u>」をテーマに各地区で行うことができた。参加者の方々の関心が高いことが分かった。</p> <p>・人生会議(ACP)に関する研修を権利擁護研修会として専門職向けに行った。</p> <p>※人生会議(ACP)とは…万が一のときに備えて、どのような医療やケアを望んでいるかについて、本人による意思決定を基本として家族や信頼のおける人、医療・介護従事者たちがあらかじめ話し合うプロセスのことです。</p> <p>厚生労働省がアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の愛称を「人生会議」と決定しました。</p> <p>※権利擁護のうち、成年後見に係る事業は「成年後見制度利用支援事業」として20ページに記載。</p>	<p>虐待相談件数(認定)</p> <p>R4:75件(10件) R3:25件(3件) R2:35件(5件) R1:35件(5件)</p> <p>権利擁護相談</p> <p>R4:17件 R3:13件 R2:32件 R1:30件</p>

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント

※介護支援専門員（ケアマネジャー）のサポート・困難ケースの支援・資質向上・ネットワーク構築

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
包括的・継続的 ケアマネジメント	<p>【令和5年度研修会実施状況】</p> <p>※下記別表1のとおり</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任介護支援専門員が中心となって、多職種の連携や、居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）へのサポートを行った。 ・介護支援専門員が抱えている困難ケース等に対して随時相談を受け、助言や指導、側面的に支援するなど、個々のケースに応じサポートを行った。 ・介護支援専門員としての知識や技術などの実践力を向上するための研修会を開催し実践力の向上を図っている。また、<u>在宅介護支援センター及び居宅介護支援事業所との連絡会議</u>（年3回の定例会）を開催し連携強化を図っている。 	<p>※在宅介護支援センター及び居宅介護支援事業所との連絡会議</p> <p>1回目：6月22日 2回目：10月31日 3回目：2月13日</p>

別表1 研修会開催状況（包括的・継続的ケアマネジメント）

開催日	内 容	講師等	会場	参加者
① R5. 8. 10	<p>第1回介護支援専門員等研修会</p> <p>「ささえる事例検討会」</p> <p>～その人を支え、援助者を支え、地域を支える事例検討会～</p> <p>※かまいしユニゾン、釜石広域介護支援専門員連絡協議会との共催</p>	<p>イーハトーブ地域包括支援センター 認定社会福祉士 (高齢分野) 鈴木 智之 氏</p> <p>岩手県介護コミュニティ協会理事 主任介護支援専門員 藤原 陽介 氏</p> <p>(事例提供) ニチイケアセンター 釜石 主任介護支援専門員 松浦 智佳子 氏</p>	釜石 PIT	36人 ※事務局 1人含む
② R5. 10. 19	<p>第2回介護支援専門員等研修会</p> <p>(第1回釜石市権利擁護研修会)</p> <p>講義「意思決定支援から人生会議・終活を考える」</p> <p>演習「もしバナゲーム」の実践、事例検討</p>	<p>釜石ひまわり基金法律事務所 弁護士 細川 恵喜 氏</p> <p>岩手県立釜石病院 緩和ケア認定看護師 西 明子 氏</p>	釜石市民ホール TETTO ホール B	32人 ※事務局 9人含む

<p>③ R5. 11. 15</p>	<p>第3回介護支援専門員等研修会 「参加者全員で考える事例検討会」 ※大槌町、釜石広域介護支援専門員連絡協議会との共催</p>	<p>社会福祉法人愛恵会 いきいき指定唐丹居 宅介護支援センター 主任介護支援専門員 留畑 丈治 氏</p>	<p>大槌町文化 交流センター おしゃっち</p>	<p>34人 ※事務局 2人含む</p>
-------------------------	--	--	-----------------------------------	------------------------------

(4) 地域ケア会議の充実

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
<p>地域ケア個別 会議の開催</p>	<p>【令和5年度事業実績】</p> <p>①個別事例検討・課題抽出型：別添資料3 随時開催…4回：小佐野・釜石(2回)・鶴住居地区生活応援センター</p> <p>②自立支援サポート型 開催回数…4回：保健福祉センター(1回1事例)</p> <p>【内容】</p> <p>(個別事例検討・課題抽出型)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別事例の検討を通じた地域課題の抽出と地域力の向上、及びネットワークの構築等を図る地域ケア個別会議「個別事例検討・課題抽出型」を開催した。 ・開催の方法は、現状で困り感を持つ事例を各地区生活応援センター及び居宅介護支援事業所等から提出してもらう形をとった。また、「個別事例検討・課題抽出型」は昨年度に引き続き地区センター会議の中の1つと位置付けて、各地区生活応援センターと協力して実施した。 ・抽出された地域課題は、「見守りに関すること」、「認知症に関すること」、「居場所作り(男性)に関すること」、「終活に関すること」等であった。また、抽出された地域課題は、地域包括ケア推進本部が実施する「地域包括ケア本部会議」や「地域ケア推進会議」に提案し政策形成につなげる。 ・構成メンバーは、民生委員、地域住民(町内会等団体の代表)、ケアマネジャー、警察、医療関係者(看護師・医療社会事業士等)、介護保険サービス事業者、生活支援コーディネーター、市職員など、地域住民と関係機関(多職種)となっている。 <p>(自立支援サポート型)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自立支援に係るケアプランを提供し、利用者の生活の質(QOL)の向上」を目指すための地域ケア個別会議(自立支援サポート型)を開催している。 ・構成メンバーは市職員、ケアマネジャー(ケアプランの作成者)、介護サービス事業所(利用者が実際に利用しているサービスの事業所)のほか、専門職の多様な視点からケアプランを検討するため、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士、主任ケアマネ、生活支援コーディネーター等の専門職が参加した 	

(5) 認知症総合支援事業

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
<p>「認知症初期集中支援チーム」による相談・支援</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】</p> <p>相談実人数…13人（男5人、女8人）</p> <p>訪問延べ人数…68人</p> <p>来所相談…22件</p> <p>電話相談…116件</p> <p>医師を含めたチーム会議…0回</p> <p>活動内訳</p> <p>・新規=8件、継続=5件、受診支援=10人、要介護認定申請支援=新規申請6人。更新申請1人</p> <p>【内容】</p> <p>・新規相談8人のうち8人が医療あるいは介護保険につながった。</p> <p>・認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、平成29年度から「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センター内に設置している。</p> <p>・具体的な支援内容：家庭を訪問し、生活状況を把握し、早い段階で医療機関を受診するなど、適切な医療や介護保険サービス、及び地域資源に結び付ける。</p> <p>・「認知症初期集中支援チーム」とあわせて、「認知症地域支援推進員」を地域包括支援センター内に配置しており、認知症支援の強化を図っている。</p>	<p>チーム構成員</p> <p>認知症サポート医1人</p> <p>保健師4人</p> <p>社会福祉士3人</p> <p>相談実人数</p> <p>R4：11人</p> <p>R3：16人</p> <p>R2：15人</p> <p>R1：15人</p>

<p>もの忘れ相談会の開催</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】 開催回数…8回 もの忘れチェック及び相談会参加者数…51人</p> <p>【内容】 ・個別相談のほかにパソコンソフトを利用した「もの忘れチェック」を行い、高齢者の不安の解消や認知症に関する意識の啓発につなげた。</p>	<p>R4 : 8回 28人 R3 : 8回、69人 R2 : 9回、41人 R1 : 9回、111人</p>
<p>認知症カフェ</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】</p> <p>■ともすカフェ（主催：介護老人福祉施設 三峯の杜） 開催回数…9回 延参加者数…281人 内容…講話、交流ゲーム、季節の行事など</p> <p>■あゆむカフェ（主催：認知症の人とあゆむ会） 開催回数…7回 延参加者数…38人 内容…フリートークなど</p> <p>【内容】 ・認知症の人や家族、地域の人が気軽に集い、認知症について理解を深める「地域の居場所」として「認知症カフェ」を開催した。 ・認知症の人やその家族が安心して過ごせる地域づくりを目指すもの。 ・新型コロナウイルス感染予防のため、地域の状況に合わせて開催を見合わせる等、感染予防対策を徹底したうえで開催した。</p>	<p>ともすカフェ R4 : 10回、246人 R3 : 9回、242人 R2 : 9回、179人 R1 : 11回、211人</p> <p>あゆむカフェ R4 : 5回、47人 R3 : 8回、55人 R2 : 1回、6人 R1 : 4回、62人</p>
<p>あたまの健康チェック</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】 実施者数…67人</p> <p>【内容】 認知症の治療や診断を受けていない60歳以上の方を対象に、主に単語記憶テストとなる「あたまの健康チェックシステム」を導入し、あたまの健康チェックを実施した。あたまの健康状態に関する目安を掲示することで頭の健康維持・増進や疾病の予防、早期発見の意義を理解し、関心を持つきっかけ作りを行った。</p>	<p>令和5年度新規事業</p>

3 任意事業

※地域の実情に応じ、市町村独自の創意工夫で実施する事業

(1) 家族介護支援事業

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報																								
<p>家族介護教室</p>	<p>【令和5年度実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 下記の在宅介護支援センターに委託し実施した。 <table border="1" data-bbox="496 533 1139 1095"> <thead> <tr> <th>事業所名</th> <th>開催回数</th> <th>実参加者</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はまゆり在宅介護支援センター</td> <td>41回</td> <td>102人</td> <td>406人</td> </tr> <tr> <td>いきいき指定居宅介護支援センター</td> <td>1回</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>いきいき指定唐丹居宅介護支援センター</td> <td>1回</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>仙人の里在宅介護支援センター</td> <td>7回</td> <td>19人</td> <td>134人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>50回</td> <td>140人</td> <td>559人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者を介護している家族等の介護に対する身体的及び精神的な負担を軽減するため、「介護方法」や「介護予防」、介護者の「健康づくり」について学ぶことのできる教室を開催した。 内容は、介護技術演習、介護予防講話、健康体操、レクリエーションなど。 	事業所名	開催回数	実参加者	延人数	はまゆり在宅介護支援センター	41回	102人	406人	いきいき指定居宅介護支援センター	1回	11人	11人	いきいき指定唐丹居宅介護支援センター	1回	8人	8人	仙人の里在宅介護支援センター	7回	19人	134人	計	50回	140人	559人	<p>R4：38回、84人 R3：39回、131人 R2：40回、110人 R1：57回、260人 (実人数)</p>
事業所名	開催回数	実参加者	延人数																							
はまゆり在宅介護支援センター	41回	102人	406人																							
いきいき指定居宅介護支援センター	1回	11人	11人																							
いきいき指定唐丹居宅介護支援センター	1回	8人	8人																							
仙人の里在宅介護支援センター	7回	19人	134人																							
計	50回	140人	559人																							

<p>認知症高齢者 家族介護支援 事業</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】 「認知症の人とあゆむ会」の主な活動状況 (会員数…23人、賛助団体19団体)</p> <p>① つどい定例会 開催回数…4回 延べ参加者数…22人</p> <p>② あゆむカフェ（認知症カフェ） 開催回数…7回 延参加者数…38人 (※14ページの再掲)</p> <p>【内容】 ・「認知症の人とあゆむ会」は平成22年9月18日に設立した家族会。当事者家族に事務局運営は困難なことから、はまゆり在宅介護支援センターに業務委託している。 ・「認知症の人とあゆむ会」では、認知症の高齢者を介護する家族が、ひとりで悩みを抱え込まないように、同じ経験を持つ会員が集いの場に参加して、悩みを傾聴し合い、互いに支え合う関係づくりに取り組んでいる。</p>	<p>正会員数 R4：23人 R3：23人 R2：30人 R1：46人</p> <p>賛助団体 R4：19団体 R3：19団体 R2：19団体 R1：19団体</p> <p>(つどい参加者内訳) 介護家族 20人 当事者 2人 (あゆむカフェ) 介護家族 34人 当事者 4人</p>
---------------------------------	--	---

(2) 認知症高齢者見守り事業

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
<p>認知症高齢者徘徊SOSネットワーク事業</p>	<p>【令和5年度登録者数】(R6.3.31現在) SOSネットワーク登録者…71人(新規登録者15人) どこシル伝言板登録者…9人 岩手県警「ぴかぼメール」の登録・配信</p> <p>【内容】 ・認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症高齢者徘徊SOSネットワーク事業を実施している。 ・この事業は、徘徊する可能性のある高齢者を事前に登録し、情報を警察と共有、徘徊事故が発生した場合、関係機関(SOSネットワーク協力機関等)との連携により早期発見につなげるもの。 ・平成27年度から、市町村名と登録番号が記載された「徘徊者早期発見ステッカー」を作成し、登録者へ配布している。 (ステッカーを履物などに貼り付けておくことにより、保護された場合、登録番号を確認し身元を迅速に特定できるようにするもの) ・岩手県警で設置している「ぴかぼメール」(※)について、SOSネットワーク協力機関及び居宅介護支援事業所に周知し、協力</p>	<p>登録者数 R4：77人 R3：65人 R2：68人 R1：72人</p>

	<p>を促している。</p> <p>※「ぴかぼメール」は、岩手県警が安心安全情報をメール配信するシステム。「行方不明者手配情報」、「不審者情報」、「特殊詐欺発生情報」等を配信する。</p> <p>・令和3年11月よりQRコードを活用したシステム「どこシル伝言板」を開始した。認知症高齢者等徘徊事故が発生した際、当事者が身に付けたQRコードを読み取ることにより、家族や関係機関で情報共有が図られ、認知症高齢者の早期発見・保護につながる。</p>	
--	---	--

(3) 認知症サポーターの養成

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
認知症サポーター養成講座の開催	<p>【令和5年度事業実施状況】</p> <p>地域開催回数…12回 参加者数 178人 小中学校開催…8回 参加者数 349人 (計：開催回数 20回 参加者数 527人)</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域等の認知症への理解や対応力向上を目指して、地域包括支援センターが事務局となり、年間のサポーター養成目標数を250人として講座を開催。 ・小中学生を対象にした講座（「孫世代のための認知症講座」）も開催している。 ・職業訓練協会や地域から依頼があり、地域での認知症への理解や関心があることを実感した。 	<p>甲子小学校6年生 =43人 (R5.9.27)</p> <p>栗林小学校3・4年生 =12人 (R5.9.27)</p> <p>鶴住居小学校4年 =20人 (R5.11.15)</p> <p>小佐野小学校4年 =46人 (R5.11.15～16)</p> <p>釜石小学校3年 =12人 (R5.11.29)</p> <p>釜石中学校2年 =129人 (R5.10.31)</p> <p>3年 =87人 (R6.1.18)</p> <p>合計 349人</p>

<p>認知症サポーター・ステップアップ講座等の開催</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】</p> <p>認知症サポーターを対象としたステップアップ講座を実施。</p> <p>対象者…唐丹地区地域住民46人</p> <p>参加人数…延人数 72人</p> <p>【内容】</p> <p>唐丹地区を対象に2回コースのステップアップ講座を開催した。</p> <p>① 講演…矢巾町地域包括支援センター 認知症地域支援推進員 鱒沢氏</p> <p>② 1. 講座…つながりサポーター養成講座 地域包括支援センター 萬主任社会福祉士</p> <p>2. 地域活動の紹介「地域で開催するカフェ（つながるカフェ） あいぜんの里指定居宅介護支援センター 久保修一氏</p> <p>3. グループワーク…地域活動についての感想・どのような唐丹になればいいのか、そのためにできること</p> <p>■「チームおれんじ・とうに」の結成</p> <p>（結成：令和6年2月6日 / 構成員：46人）</p> <p>・唐丹地区では、長年、駐在所連絡協議会が中心となり、地域の見守りや助け合いを推進しており、養成講座は223人が受講している。センター会議においても認知症についての心配や対応が話題となることが多く地域見守りを継続しながら地域で認知症カフェを開催することなどを目指し、チームおれんじ・とうにを結成した。</p> <p>（活動内容）</p> <p>・今行っている活動や生活の中でお互いに声をかけ合い見守る。</p> <p>・ステップアップ講座等へ参加し、お互いの取り組み状況を共有。先進地視察や他のチームオレンジとの交流等スキルアップを図る。</p> <p>チームオレンジへのフォローアップ講座実施について</p> <p>■チームオレンジ・はまぼうふう</p> <p>・定期的にあつまろう会で情報共有。</p> <p>・第1回：R5.4.27（19人） 内容）近況報告、活動の展開について、次回のあつまろう会の内容について</p> <p>・第2回：R5.7.27（18人） 内容）近況報告、講話「認知症について」 社会福祉法人堤福祉会 在宅複合型施設ゆーらっぷ 介護支援専門員 川崎 教申氏</p>	<p>チームオレンジ 結成までの流れ</p> <pre> graph TD A(1. サポーター養成講座) --> B(2. サポーターステップアップ講座) B --> C(3. チームオレンジ結成) </pre>
-------------------------------	---	---

	<p>・第3回：R5.10.26（15人） 内容）近況報告、協議事項について、 講話及び交通シュミレーション体験 釜石警察署 交通課 交通企画係長 後藤 和貴氏</p> <p>・第4回：R6.1.30（20人） 内容）講話①特殊詐欺予防に関するお話 釜石警察署鶴住居駐在所 巡査部長 佐藤太一氏 講話②つながりサポーター養成講座 釜石市高齢介護福祉課 三浦功喜氏 近況報告、今後の動きについて</p> <p>■チームオレンジ・こさの ・チームオレンジこさの・ジュニアステップアップ講座： R5.10.25 対象）小佐野小学校5学年（66人） ・認知症サポーター養成講座：R5.11.20（15人） ・ステップアップ&フォローアップ講座：R5.11.29：（33人）</p>	
--	---	--

(4) 成年後見制度利用支援事業

※成年後見制度の市長申立、成年後見制度の普及啓発、成年被後見人等への報酬助成、成年後見センターとの連携等

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
<p>成年後見制度 利用支援事業</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】</p> <p>成年後見に関する相談…31件</p> <p>成年後見市長申立て件数…1件 (障がい分野でも1件有)</p> <p>成年後見利用支援事業助成金申請件数…2件 (障がい分野でも1件有)</p> <p>【内容】</p> <p>・釜石、遠野、大槌が連携して設置した「釜石・遠野地域成年後見センター(釜石市社会福祉協議会に委託)」と連携し、成年後見制度の普及・啓発活動、相談支援(制度の説明や申立支援)、後見人等支援、権利擁護に係るネットワークの構築等を行った。</p> <div style="border: 1px solid #add8e6; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【成年後見センターとの連携事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリング会議開催…12回 2. 受任調整会議の対象者…21人(9回開催) 3. 成年後見人等決定後のケア会議開催回数…37回 (当市対象者14人) <p>注1. モニタリング会議…個別事例の検討や成年後見制度に関する情報共有を目的として実施。</p> <p>注2. 受任調整会議…どのような後見人等の選任が望ましいか検討し家庭裁判所に情報提供を行うため実施。</p> <p>注3. ケア会議…後見人等の支援のため、後見人等が選任された後も対象者の意思決定支援にかかる会議を実施。</p> </div> <p>【成年後見センターの事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 市民セミナー(テーマ:終活)…1回、参加者42人 5. 市民後見人フォローアップ講座…2回、延べ19人 6. 法人後見に関する取り組み ・先進地視察…1回、行政との協議…1回 <p>※成年後見センターは、成年後見制度の利用促進と、円滑に制度を利用できる体制づくりを進める中核機関(①広報機能、②相談機能、③成年後見制度の利用促進機能、④後見人支援機能を有している機関)として設置されている。</p>	<p>【市長申立て件数】</p> <p>()は障がい分野</p> <p>R4:1件 (1件) R3:0件 (2件) R2:0件 (0件) R1:2件 (0件)</p> <p>【報酬助成】</p> <p>R4:0件 (0件) R3:0件 (0件) R2:0件 (0件) R1:1件 (0件)</p> <p>【後見人等受任状況】</p> <p>※釜石市分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後見 85人(39人) ・補佐 18人(17人) ・補助 5人(5人) <p>※()書は専門職。専門職以外は親族後見人。<u>R5.12.31現在</u></p> <p>【市民後見受任者数】</p> <p>・2人(釜石市)</p> <p>※R6.3月末</p> <p>【市民後見人候補者名簿登載者】</p> <p>・14人(内釜石8人)</p> <p>※養成講座修了は19人</p> <p>【任意後見人】</p> <p>・0人</p> <p>※契約済みではあるものの「任意後見監督人」がまだ選任されていない状態。</p> <p>【受任調整会議内訳】</p> <p>釜石12人、遠野9人 大槌2人、合計23人 (専門職後見23人、</p>

	※市民後見人とは、弁護士、司法書士等の専門職後見人や親族後見人以外の第3者後見人で、厚生労働省が定めるカリキュラムを修了した身近な住民が後見活動を担うというもの。剥ぐ	市民後見3人)
--	---	---------

(5) 配食サービス事業

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
配食サービス事業	<p>【令和5年度事業実施状況】</p> <p>実施回数…258回（弁当配達件数1,722件）</p> <p>利用者数…年間470人（月平均39人）</p> <p>利用者負担…1食400円</p> <p>配達回数…1人週1回（選択肢は週1回か月1回）</p> <p>委託先…釜石社会福祉協議会</p> <p>【内容】</p> <p>・調理が困難な高齢者に対して、定期的に居宅に訪問して栄養バランスの取れた食事の提供と利用者の安否確認を兼ねることで高齢者の見守り支援の促進を図る。</p>	<p>実施回数（配達数）</p> <p>R4：232回（1,608回）</p> <p>R3：235回（1,449回）</p> <p>R2：212回（1,327回）</p> <p>R1：192回（1,217回）</p> <p>利用者数</p> <p>R4：425人</p> <p>R3：393人</p> <p>R2：521人</p> <p>R1：471人</p>

4 介護予防支援事業

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
<p>介護予防支援事業</p>	<p>【令和5年度事業実施状況】 介護予防ケアプラン作成件数…2,522件（年） 月平均作成件数…210件</p> <div style="border: 1px solid #add8e6; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>介護予防ケアマネジメント事業と合算した件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防ケアプラン作成件数 4,770件（年） ・月平均作成件数 398件 </div> <p>【内容】 ・介護保険の要支援1、2と認定された方（訪問型サービス及び通所型サービスのみを利用している方「介護予防ケアマネジメント事業」対象者を除く）に対して、介護予防支援業務を行った。</p>	<p>【令和5年3月末】 人口：29,556人 （要支援者数） 要支援1＝402人 要支援2＝253人 計＝655人 （サービス利用者） 203人 （高齢者人口） R6.3末12,026人 R5.3末12,237人 （高齢化率） R6.3末40.7% R5.3末40.4%</p>

5 その他事業

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
生活管理指導 短期宿泊事業	<p>【令和5年度事業実施状況】</p> <p>利用者数…6人（五葉寮6人／吉祥園0人） 延べ利用日数…159日（五葉寮159日／吉祥園0日） 利用者負担…1日500円／1食540円</p> <p>【内容】</p> <p>・要介護認定非該当の人及び社会適応能力に不安がある高齢者で体調不良等により居宅での生活が一時的に困難になった人を養護老人ホーム等に入所させ生活習慣の指導や体調の調整などを支援した。</p>	<p>（五葉寮）</p> <p>R4：9人（272日） R3：7人（180日） R2：12人（219日） R1：19人（371日）</p> <p>（吉祥園）</p> <p>R4：4人（58日） R3：0人 R2：0人 R1：0人</p>

事業名	事業内容・実績・評価	関連情報
補聴器購入助成 事業	<p>【令和5年度事業実施状況】</p> <p>利用者数…11人</p> <p>【内容】</p> <p>・身体障害者手帳の交付対象とならない程度の難聴にある高齢者で以下の条件を満たす人に対し補聴器購入費用の助成を行った。</p> <p>① 市内に住所を有する60歳以上の人 ② 両耳の聴力レベルが40デシベル以上70デシベル未満又は片耳の聴力レベルが50デシベル以上、もう片方の聴力レベルが90デシベル未満の人で耳鼻咽喉科的治療により聴力改善が見込めない人。 ③ 世帯に市民税所得割46万円以上の人がないこと。</p> <p>【助成額】</p> <p>・市民税非課税世帯の人…補聴器購入額の9/10（上限5万円） ・上記以外の人…補聴器購入額の1/2（上限3万円）</p>	令和5年度新規事業